

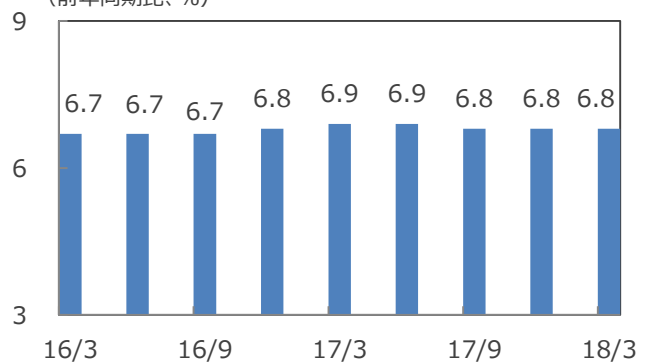
今日のトピック 堅調さを維持する中国経済（2018年4月）

1-3月期GDPは3期連続+6.8%成長

**ポイント1 1-3月期GDPは6.8%成長
3期連続で同じ伸び**

- 中国国家統計局は17日、主要経済指標を発表しました。18年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.8%と、3四半期連続で同じ伸びとなりました。18年の政府の成長率目標の「+6.5%前後」を上回り、中国経済が堅調さを維持していることが示されました。

【実質GDP成長率】
(前年同期比、%)

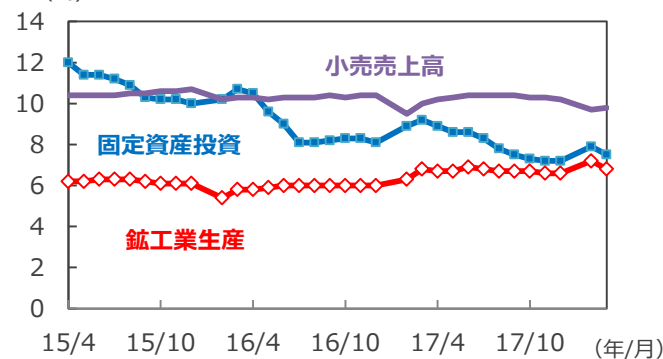


(注) データは2016年1~3月期~2018年1~3月期。(年/月期)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 3月の生産、投資はやや鈍化
小売売上高は伸び拡大**

- 18年1~3月の固定資産投資は前年同期比+7.5%と、1~2月(同+7.9%)から伸び率がやや縮小しました。ただし、全体の約6割を占める民間投資は同+8.9%と、1~2月(同+8.1%)から加速しました。
- 1~3月の鉱工業生産は同+6.8%と、1~2月(同+7.2%)からやや減速しました。厳冬に伴う暖房需要が減少し、1~2月の電力生産などが反動減となったことが背景です。
- 一方、1~3月の小売売上高は同+9.8%と1~2月(同+9.7%)からやや加速しました。インターネットを通じた販売が高い伸びを示しました。

【固定資産投資、鉱工業生産、小売売上高】
(%)



(注) データは2015年4月~2018年3月、年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 景気は緩やかに減速する見込み、米中貿易戦争回避が期待される

- 17日に発表された主要経済指標によれば、中国経済は総じて堅調さを維持していることが示されました。今後は、習指導部が掲げる、経済成長の量より質を重視する方針の下で、中国経済は緩やかに減速していくことが見込まれます。
- ただし、米中の貿易摩擦には注意が必要です。米中協議の決裂は、両国にとって大きなマイナスとなるため、両国は落としどころを探りつつ、激しい交渉を行うとみられます。

ここもチェック! 2018年4月17日 中国の習近平国家主席、『市場開放』推進を強調
2018年4月4日 中国の『PMI』は堅調さを維持

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。